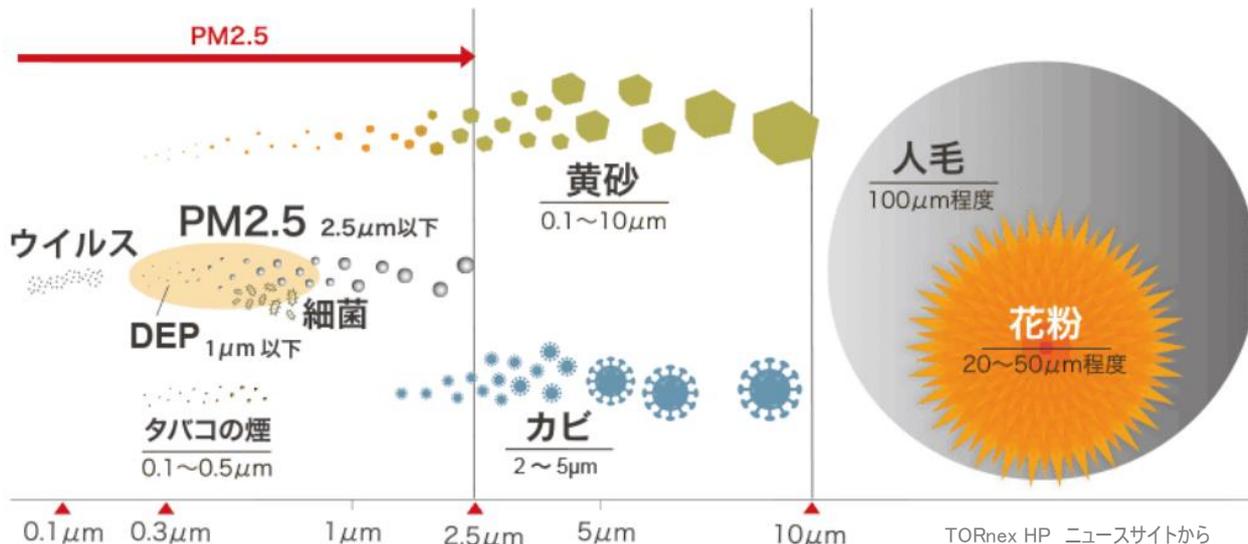
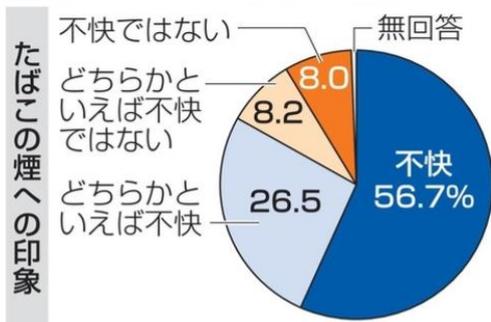


週刊 タバコの正体

■空気中のちりや汚染物質の大きさの比較



世論調査の主な結果 (内閣府による)



YAHOO! ニュースから

喫煙者の吐き出すタバコの煙は白く見えても、すぐに消えてしまいます。ところが、ニオイはしばらく残ります。つまり、見えなくなってもタバコの成分が漂っているわけです。

それもそのはず、上図の空気中に漂う物質の大きさを見比べてください、タバコの煙の粒子は花粉の1/100しかないほどすごく小さく、細菌やウイルスと同じ PM2.5と呼ばれる微小粒子なのです。

左図のグラフは、最近内閣府が公表した世論調査から抜粋されたタバコの煙への印象を示しています。グラフにあるように多くの人がタバコの煙を不快だと感じている事がわかります。さらに、下の表を見てください。ある企業が調査したビジネスシーンにおけるニオイに関するアンケートでも、タバコのニオイを不快に感じる人がかなり多いという結果が出ています。

不快に感じるニオイ	回答
1.口臭	23.0%
2.食事臭	24.8%
3.香水	40.4%
4.アルコール	41.6%
5.汗・皮脂	91.0%
6.タバコ	73.8%
7.その他	7.6%

マイナビニュースから

すごく小さいタバコの粒子は、かなり厳密に密閉した場所でない限り空気中を漂い想像を超えて広がり、さまざまところに不快なニオイを残します。タバコを吸うには、この事をしっかり意識してもらわなければなりません。

産業デザイン科 奥田恭久